

技術士口頭試験体験談

日 時： 平成 30 年 12 月 4 日（火） 晴れ
会 場： 渋谷フォーラム 8 （受付 7 階→控室 7 階 773 号室→試験室 7 階 772 号室）
試験時間： 予定： 15：00～15：20（20 分）
 実績： 15：20～15：38（18 分で終了）
試験官： （L）役所（国土交通省）OB 風，小太り・メガネ着用，60 代と推定（A）
 （C）役所（国土交通省）風，細身小柄，50 代後半と推定（B）
 （R）コンサル風，普通体形・めがね着用，50 代と推定（進行役）（C）

受験者： ガジュマル
専門とする事項： 港湾及び空港

受付は 7 階、控室は 773 号室（受付の奥）、試験室は 772 号室（受付の直ぐ裏横）であった。控室は 100 名程度収容できる部屋で、試験開始 40 分前に到着したときには 3 名の方が待機していた。その後も、数名の方が入室し待機していた。

試験開始 7 分前に控室から試験室前へ移動し、試験室前の控え椅子に腰をかけて呼ばれるのを待った。

しかしながら、試験予定時刻の 15：00 になっても前の方が退室する気配がなく、部屋の中から微かに聞こえる声により緊張感が高まっていった。

しばらく待機していると、15：13 頃に私の次の受験者だと想定される方が教室前にやってきた。

『あれ、まだ呼ばれないのですか？』との質問に、私は「まだ、前の方が出てきていない状況です。」と伝えた。

私からは「試験時刻は、15：20 でしたか？」と質問すると、『そうです。』との回答だったので、「私の後になりますね。」と伝えると、控室に戻っていった。

試験開始時間が大幅にズレたことでペースを乱されましたが、このタイミングで会話をできたことで少し緊張が解けた。

しばらくすると、15：18 頃に私の前の受験者が退室した。

その後、15：20 に扉が開き、一言『どうぞお入りください。』

荷物を持って試験官（C）の後に従って試験室へ入出し、気合を込めて「失礼します！」と発した。

椅子の後ろのかばん置きに荷物を置いたタイミングで、試験官（B）から『受験番号とお名前をお願いします。』と告げられたので、受験番号と名前を告げ「よろしくをお願いします！」と礼をし、指示を待った。

試験官（B）から『どうぞお掛けください』と言われ、イスに深く腰掛けた。

Q 1：それでは、口答試験をはじめます。（A）

A 1：はい、よろしくお願いします。

Q 2：それでは、私からはご提出いただいた業務経歴票について質問させていただきます。

まず経歴を拝見させていただいたところ、民間企業に〇年間お勤めになった後に行政に転職されていますが、どういった理由から転職されたのですか。（A）

A 2：私は大学を卒業後、〇〇といった理由から民間の建設会社に入社しました
建設会社では、〇〇や〇〇を学びました。

その中で、私が携わった〇〇は、〇〇になります。

そこで、〇〇のため、転職を決意しました。

また、民間企業で培った〇年間の経験が、公共事業の整備のために生かせると考えたからです。

Q 3 : なるほど、良くよくわかりました。

次に、受験された動機は何ですか (A)

A 3 : はい、二点ございます。

一点目は、自身のスキルアップ・自己研鑽でございます。

二点目は、私は公務員であるため、発注者の信頼をより高いものとするため、社会的に信頼されている技術士を取得しようと考えました。

Q 4 : この他に、何か技術資格を取得されていますか (A)

A 4 : はい、〇〇や〇〇などの資格を取得しています。

Q 5 : では、ご提出いただいた業務経歴票の小論文に移ります。

まず、業務の内容について3分程度でご説明をお願いします。

必要に応じて、ホワイトボードを使っていただいても結構です。(B)

A 5 : 経歴書に記載した業務は、・・・・・・(約3分間で説明)。

Q 6 : この業務の中で、技術士にふさわしい点はどこですか (B)

A 6 : 港湾構造物は、他の構造物と比較して厳しい環境下に位置するため、塩害による劣化が生じやすいことから、初期建設時の品質確保が重要であると考えます。

今回、〇〇という施工条件がある中、暑中の厳しい環境下でマスコンクリートを施工するため、品質を確保することが最重要課題でした。

コンクリートの施工は、製造・運搬・打設・養生すべてが大切であるため、それぞれの問題点を抽出し、照査・施工段階ごとに検証を行い、実施工に繋がったことが港湾の技術士にふさわしいと考えます。

Q 7 : 的確な工場選定を行ったとありますが、どういった点が的確であると考えますか (B)

A 7 : まず、暑中コンクリートという条件を勘案すると、練り混ぜから打設完了までを〇時間に行わなければなりませんでした。

そこで、運搬距離が大切になりますが、運搬時間を考慮すると〇社の工場がありました。

また、大量のコンクリートを製造・運搬するためには、プラント自体の供給能力やミキサー車の確保も必要になってきます。

これらの条件をしっかりと精査した上で、〇社の工場を選定しました。

Q 8 : 品質管理を強化したとありますが、具体的には何をどのようにされたのですか。(B)

A 8 : コンクリートの耐久性は、水セメント比が大きく影響します。

そこで、今回の工事では、特に単位水量について厳しく管理しました。

通常の見準では、 $\pm 0\text{kg}/\text{m}^3$ で〇〇することになります。

また、 $\pm 0\text{kg}/\text{m}^3$ で〇〇になります。

今回は、 $\pm 0\text{kg}/\text{m}^3$ で〇〇と設定し、通常より厳しく管理させていただきました。

また、通常の見準では〇〇することになりますが、今回は〇〇と頻度をあげております。

Q 9 : 単位水量について厳しく管理されたということですね。良くわかりました。

今回、この工事ではマスコンクリートのひび割れ対策も含めて様々な対策を実施されたとのことですね。

当時は最適だったかもしれませんが、同じような現場があったとしたら同様に施工されますか。

また、現在ならこのようにするなど、最近の技術的トピックなどがあれば交えてご説明ください。(B)

A 9 : この業務で採用したマスコンクリートのひび割れ対策の技術的アプローチについては、データ解析のもとでの的確な施工管理を実施したことで、良好な結果を得たものです。

同様の環境下におかれた港湾構造物の施工においても適用できるものと考えています。

また、最近の技術的トピックとして、〇〇を用いたコンクリートに注目してございます。

〇〇を用いる場合に比べ〇〇と聞いています。

〇〇の入手が困難な〇〇などにおいて有効に活用できると考えます。

Q10：今回の工事では、監理管理者として従事されたとのことですが、部下と一緒に仕事をされていると思います。

そういった中で、部下の育成はどのようにされてきたのか、また、どのようにしていけば良いのかお考えをお聞かせください。(B)

A10：部下の教育は、OFF-JTにより基礎的理論を学び、OJTにより実務スキルを習得するなど、これらを組み合わせながらPDCAのサイクルを確立させ、効果的かつ戦略的な人材育成につとめています。

Q11：次に、筆記試験の選択科目Ⅲについて質問させていただきます。

〇〇工事において、工事の遅れを挽回し工期を守るための4つの方策を記載されています。

また、その中で、実行可能性が高く効果も大きいと思われるものを2つ選び、その内容、対処方法及び対処上の留意点についても記載されています。

具体的には、〇〇について記載されておりますが、なぜ実行可能性が高く効果が大きいと考えたのかお聞かせください。(B)

A11：〇〇工事の工期を挽回するためには、〇〇する必要があります。

そこで、〇〇することが確実であると考えて記載しました。

しかしながら、〇〇が不可能な場合には〇〇が求められると考えます。

その場合には、〇〇や〇〇などの方策もございます。

Q12：〇〇するなど作業内容に変更が生じた場合には、関係者への調整も必要になってくると思います。

施工者の立場としては、どのような調整先がありますか(B)

A12：はい、まずは〇〇への変更申請が必要になります。

また、〇〇への説明や〇〇などとの調整が必要になります。

Q13：筆記試験では、工事途中段階での工期の挽回対策についての質問でしたが、工期を遵守するためには工事を早期に着手していく視点も重要です。

工事の早期着手にあたり、注意すべき点はどのようなことが考えられますか。(B)

A13：先ほどの質問に少し重複した回答になってしまいますが、まずは早期に〇〇したうえで〇〇が必要です。

併せて、〇〇の実施にあたりに影響を与える〇〇などへの調整も必要であると考えます。

Q14：では、私から質問させていただきます。

業務経歴票に記載されている業務は、〇年程前の業務のようですが、その後は技術士にふさわしい業務はされていないのですか。(C)

A14：いいえ、業務経歴票に記載した業務以降においても高等な専門的応用能力が必要な業務に従事させていただいております。

例えば、〇〇工事の中で、〇〇対策として〇〇工法を採用し課題解決を図っています。

また、現在従事している業務は、〇〇内での〇〇になりますが、上空には〇〇の高さ制限があり、地下には〇〇が走っている地域になります。

上下に囲まれた特殊な環境での施工となるため、専門的技術力を発揮しながら業務に従事させていただいております。

Q15：次に、技術者倫理について質問させていただきます。

技術士法では、3つの義務と2つの責務が定められています。

ご存知ですか、お答えください。(C)

A15：はい、信用失墜行為の禁止、守秘義務、名称表示の場合の義務、公益確保の責務、資質向上の責務でございます。

- Q16：業務経歴票に記載された小論文の業務の中での技術者倫理はどのようなものでしたか
(C)
- A16：公益の確保にあると思います。
公共工事でもございますし、より良いものを作ることが公益の確保に繋がると考えます。
- Q17：これまでの業務において会社の利益と、公共の利益が反するような事例はありましたか。
あればで、結構です。
無ければ、そのような事態が発生した場合はどのように対応されますか。(C)
- A17：はい、現在までの業務において、幸いにしてそのような事態に遭遇したことはありません。
もしそのような事態に遭遇した場合は、社会資本を担う公共事業に携わっておりますので、公共の安全・環境の保全に努め、公益の確保を優先いたします。
- Q18：公益の確保を優先すると仰いましたが、技術者倫理を守るためにはどのようなことに心掛ける必要がありますか。(C)
- A18：はい、データの隠蔽や改ざんなどを絶対にしないということです。
- Q19：続きまして、CPDについてお伺いします。
技術士には資質向上の責務として継続研鑽が求められます。
CPDには、どのような内容がありますか。(C)
- A19：講習会、研修会、シンポジウムへの参加、論文の執筆、資格の取得、eラーニングなどがございます。
- Q20：CPDの実施にあたっては、どのようなことに心掛ける必要がありますか。(C)
- A20：課題として、専門技術や関係法令、倫理など様々な分野がございますので、幅広く学習することが求められます。
また、年間50単位時間を目標に自己研鑽に努める必要があります。
- Q21：はい、よくわかりました。他に何かありますか。(C)
- 大丈夫です。(B)
- では、以上で終わりにしたいと思います。(C)
- お疲れ様でした。(B)
- A21：ありがとうございました。
- 最後に、試験室を出る際に挨拶をして出た。
時計を見ると15:38で、入室から退室までの時間は18分であった
退室してから、試験室前の椅子に次の受験者が待機していたため、「がんばってください。」と一言声掛けをして会場を後にしました。
帰りの電車の中で、質問された内容の一つひとつを思い起こしながらメモしました。
今回、試験開始時間が遅れたこと、いきなり転職理由の質問から始まったこと、筆記試験でA評価を頂いた選択科目Ⅲについての質問があったことなど、想定外の部分もあり少し焦って回答した部分もありますが、自身の中では最善を尽くせたと思います。
今回で建設部門の3科目目の受験となりましたが、3回それぞれが違うパターンの口答試験であり、あらためて奥が深いなと感じました。
口頭試験結果の発表は、3月8日(金)です。
可否に関わらず、ここまで辿りつけたことは、ご指導して下さった方々のおかげであると心から感謝しております。
また、今後も更なる技術の研鑽に励みたいと思います。

平成30年12月4日 ガジュマル

以上